

2013年10月16日
東日本旅客鉄道株式会社

東京駅丸の内駅舎前 換気塔(2基)切下げについて

JR東日本では、首都東京の「顔」にふさわしい多彩な魅力と先進の機能をもった駅＝街「Tokyo Station City」として、東京駅周辺地区の都市空間整備を進めています。

この一環として、2012年10月に保存・復原工事が完了した東京駅丸の内駅舎前にある換気塔(2基)の切下げ工事を実施しますのでお知らせいたします。

換気塔(2基)切下げ

東京駅丸の内駅舎(重要文化財指定)については、昨年10月に保存・復原工事が完了して以来、多くのお客さまにご利用いただいております。この度、東京駅周辺地区の景観に配慮し、丸の内駅舎前空間の見通しを良くするために、以下のとおり、換気塔(2基)を切下げます。

なお、丸の内駅前広場の全体整備計画について検討を進めております。計画の詳細が決まり次第あらためてお知らせいたします。

[工事概要]

現在の高さ約13mを高さ約4mまで切下げます。

切下げ後の換気塔に約3mの庇を設置することにより、東京地下駅の換気機能を確保します。

淡いグレー系の色調とするなど、東京駅周辺地区の景観に配慮した仕上げとします。

2014年2月頃までに切下げを完了し、その後、庇設置及び仕上げ工事を行います。

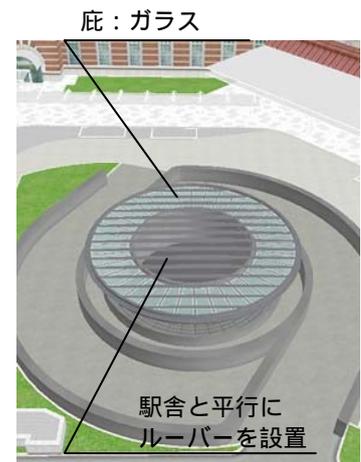
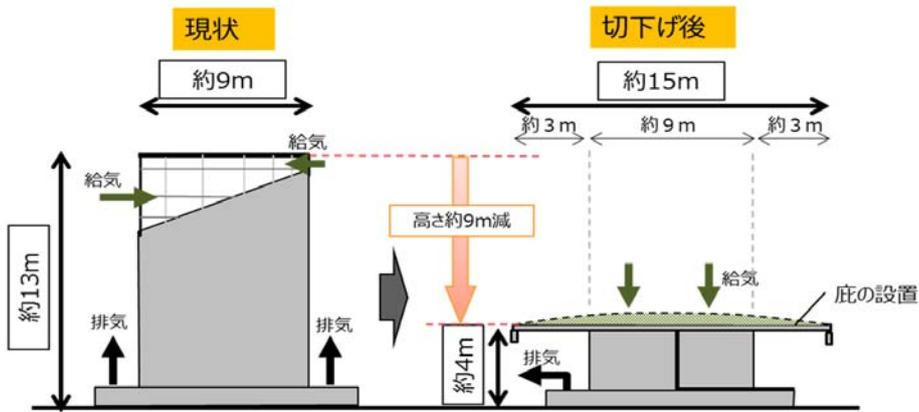
切下げ工事を実施する換気塔



写真丸囲みの施設が、切下げ工事を実施する2基の換気塔です。

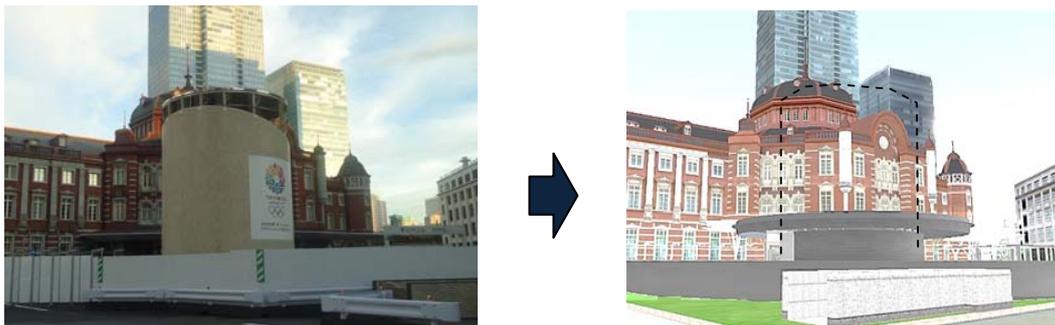
2基の換気塔は、総武・横須賀線東京地下駅への空気の送込み・排出のために必要な施設です。

改修イメージ



庇下にも太陽光が届くように、新たに設置する庇はガラス素材を採用します。
丸の内駅舎と平行方向にルーバーを設置し、ホテル客室や周辺オフィスビル等の上空からのデザイン性にも配慮しています。

広場からの見え方(イメージ)



本資料にあるパース・図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。